



成長ホルモン分泌異常の甲状腺への影響に関する検討

2012年1月1日から2027年3月31日までに糖尿病・内分泌代謝内科、脳神経外科で先端巨大症または重症成人成長ホルモン分泌不全症と診断された患者さん

研究協力のお願い

当科では「成長ホルモン分泌異常の甲状腺への影響に関する検討」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2012年1月1日より2027年3月31日までに日本医科大学付属病院糖尿病・内分泌代謝内科または脳神経外科にて、先端巨大症または重症成人成長ホルモン分泌不全症と診断された患者さんを調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：成長ホルモン分泌異常の甲状腺への影響に関する検討

研究期間：研究実施許可日～2028年3月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 糖尿病・内分泌代謝内科 教授 福田いずみ

(2) 研究の意義、目的について

成長ホルモンは甲状腺機能および甲状腺の形態に影響を与えることが知られています。先端巨大症や重症成人成長ホルモン分泌不全症の患者さんの甲状腺について検討することで、ヨード過剰地域である本邦における、成長ホルモンの甲状腺に対する影響を明らかにすることを目的といたします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2012年1月1日より2027年3月31日までの期間に日本医科大学付属病院糖尿病・内分泌代謝内科または脳神経外科にて、先端巨大症または重症成人成長ホルモン分泌不全症と診断された患者さんの以下の情報を用いて検討を行います。

試料：なし

情報：

1. 年齢、性別、現病歴、既往歴、食事摂取歴、身体所見(身長、体重、BMIなど)
2. 血液検査（一般検査、内分泌的検査、抗甲状腺抗体、尿中ヨウ素）
3. 負荷試験結果（75gOGTT や下垂体機能評価）
4. 本症の診断及び合併症評価のために施行された画像検査（MRI、甲状腺エコーなど）や簡易睡眠時呼吸検査
5. 先端巨大症や重症成人成長ホルモン分泌不全症に対しての治療内容
6. 治療後の一般血液検査、内分泌学的検査結果、負荷試験結果、画像検査結果（甲状腺エコーやMRI）
7. 下垂体または甲状腺手術をおこなった患者さんの組織結果

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイド」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 糖尿病・内分泌代謝内科 教授 福田いずみ/助教・医員 羽田 幹子

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6724

メールアドレス：i-fukuda@nms.ac.jp/mikiko-o@nms.ac.jp